**飛躍の年になることを願って**

**令和5年 大崎市新年のつどい**

|  |
| --- |
| 「第15回宝の都（くに）・活性化貢献賞」の受賞団体と活動内容 |
| 宮沢地域振興協議会 | 行政と協働による安全・安心かつ明るく住みよい地域づくりを目的に、アンケートの実施や懇談会などを実施。 |
| サークル・アン | 読み聞かせを通して、子どもたちが本に関心を持ち、親しんでもらうことを目的に、本と出会い、触れ合う場などを提供。 |
| 松山地域内公共交通運営委員会 | 地域内公共交通の確保と、地域の実情に即した公共交通サービスの実現を図ることを目的に、「コスモス号」を運行。 |
| 鹿島台互市運営委員会 | 明治43年に、村民の豊かな暮らしを願い開設した互市。感染対策の協議を重ね、3年ぶりに開催し、再び地域に活気を与えた。 |
| 政宗公まつり実行委員会 | コロナ禍の難局を乗り越え、3年ぶりに「政宗公まつり」を通常開催。市民に再び「感動」と「興奮」を伝えた。 |
|  |
| 大崎市特別感謝状の受賞者と功績 |
|  日本雁を保護する会 など | 国際的に重要な湿地保全の貢献に贈られる「ラムサール湿地保全賞ワイズユース部門」を受賞。 |
| 遠藤 元帝京大学 陸上競技部 | 東京箱根間往復大学駅伝競走に4年連続出場し、日本人区間最高記録を更新する。 |
| 岩崎 仙台育英学園高等学校硬式野球部 | 第104回全国高等学校野球選手権大会での活躍により、東北勢初の優勝に大きく貢献。 |

　1月4日、大崎市新年祝賀会実行委員会（大崎市・古川商工会議所・大崎商工会・玉造商工会・古川農業協同組合・新みやぎ農業協同組合）主催による、「令和5年大崎市新年のつどい」を開催しました。4部で構成されたつどいには、約300人が参加し、新年を祝いました。

**「第15回宝の都（くに）・活性化貢献賞」贈呈式**

　市の魅力の発信や、地域活動を促進するために先導的な役割を果たした5団体に対し、功績を顕彰するトロフィーが贈呈されました。

**「大崎市特別感謝状」贈呈式**

　各専門分野で活躍し、市の施策の推進や市の知名度向上に寄与した3人に、特別感謝状が贈呈されました。

**第15回おおさき子どもサミット2022発表会**

　昨年11月25日に、市内の小学校の児童が参加し、「第15回おおさき子どもサミット2022」が開催されました。

　参加校を代表し、古川第二小学校と大貫小学校が、「語り合おう大崎市の今、夢、未来」をテーマに、パネルディスカッションした内容を発表しました。

**新春講演会**

　おおさき宝大使の同志社大学教授、大和田順子氏が、「市民総参加で創るSDGs未来都市大崎」をテーマに講演しました。

　大和田氏は、「生きものと共生する農業や地域づくりは、ラムサール条約、世界農業遺産、SDGｓ未来都市として高く評価されている。この景観は、大崎耕土に住む市民の幸せの源泉。市民総参加でSDGｓ未来都市大崎の未来、渡り鳥に愛され続ける田園都市創生に、取り組んでいきませんか」と話しました。

　また、おおさき宝大使の元横綱白鵬関で現宮城野親方からのビデオメッセージが上映され、場内は温かい拍手に包まれました。

写真①「第15回宝の都（くに）・活性化貢献賞」の受賞者②パタ崎さんから記念品を受け取った、古川第二小学校と大貫小学校の児童の皆さん③新春講演会の講師 大和田順子 氏、特別感謝状を贈呈された④呉地正行 氏⑤岩崎生弥 氏